

航空機運航のDX推進に向けた検討会 概要

国土交通省 航空局
交通管制部 交通管制企画課

航空機運航のDX推進に向けた検討会 概要

取り組みポイント

- 航空機の運航の高度化の観点から、航空交通・運航関連データを関係者間でリアルタイムに共有するため、世界各国で『情報共有基盤』（SWIM：System-Wide Information Management）の整備が進められている。我が国では令和3年度に整備に着手したところ（～令和6年度）。
- SWIMの導入を契機とし、航空交通・運航関連データの幅広い利活用を図るための検討会を立ち上げた（昨年9月）。
- 航空分野に限らない産学官による構成メンバーの下で、データ利活用に関する取組発表や意見交換を行い、具体的な方策の検討を進めている。

開催状況

【実績】 令和3年

- ・第1回 9/21 検討会開催の趣旨、現状認識
- ・第2回 10/29 空港における取組発表・意見交換
- ・第3回 11/ 9 航空会社における取組発表・意見交換
- ・第4回 11/19 情報利活用者・ベンダーにおける取組発表・意見交換
- ・第5回 12/15 委員による取組提案・意見交換

【今後の取組(予定)】

年度内に今後の取組の方向性をまとめ、引き続き、具体的方策について検討を進める。

構成メンバー

- 【有識者】 森川 博之 東京大学大学院 工学系研究科 教授
 武市 昇 東京都立大学 システムデザイン研究科 教授
 平田 輝満 茨城大学 工学部 都市システム工学科 准教授
- 【空 港】 成田国際空港、中部国際空港、関西エアポート、
 南紀白浜エアポート、全国空港ビル事業者協会 等
- 【航空会社】 日本航空、全日本空輸、定期航空協会 等
- 【研究機関】 宇宙航空研究開発機構、電子航法研究所 等
- 【関係事業者】 NEC、Google、ナビタイムジャパン、ウェザーニューズ 等

